

11月には、毎年恒例の**ぽけっとまつり**が行われました。

前日の荒天に不安を抱きながら準備を行いました。当日はなんとという快晴！空もぽけっとの味方でしたね。参加して下さったママから「またグレードアップしましたね！」と感想をいただき、素直に、とても嬉しく受けとめさせていただきました！そこには、みなさんを思うぽけっとの先生たちの『**こだわり**』が見え隠れしていなかったのでしょうか？なにより、みなさんのにこやかな顔、そして美味しそうなお顔を拝見することができて、ほんとうに嬉しかったです。

そしてこれもひとえに、たくさんの方の協力があったからこそ。**ハッピーマザーズさん、ファミリーサポートの支援会員さん、風の子保育園の関係者、町内会の方、ぽけっとのパパさん、ママさん、小学生の子どもたちも…**

**ぽけっと**が始まって**三年**ということもあり、感慨深いものがありました。**ぽけっとまつり**は、いわば**一年間の集大成**ともいえます。そこでこんなにたくさんの『**力**』が集まったことに、**感謝の気持ちと喜び**は大きなものでした。**ぽけっと**は、こんなに**たくさんの人に支えられている**のだと、実感しました。それはつまり、子育て中のみなさんの陰となり日向となって見守り、なにか力になりたいと感じていらっしゃる方が大勢いらっしゃるということです。**心強い**ことですね。

自分もまた、**たくさんの人を支えられる人**になりたい…。そんなことをしみじみと感じた一日でした。



センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

♪ いいこといいこと♪

- ◆ 「ふれあい遊び」 毎日 11:00-11:30  
 <水曜日> えいごで遊ぼう (大下りえこ先生)  
 <月2回 第2第4 木曜日>  
 おやこで**ダンス** (近ゆきこ先生)
- ◆ 「**0歳児つどい**の広場」 毎週木曜 10:00-11:00

12月限定

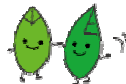


年末年始のMAY

- ◆ 休館日 日曜・月曜・祝日  
 12/29(木)~1/3(火)は休業します  
 ※年末は12/28(水) 12:00まで  
 年始は1/4(水) 13:00から開館します
- ◆ 職員会議 12/10(土)  
 ※広場・一時預かりのご利用は9:00-13:00になります



いいこといいこと♪  
広場の遊びから



秋から事務に入っています

2足のわらじではないですが、**田んぼのグループ**を主宰したり、里山の**自然観察のガイド**をしたり、来春からは葉山で「**森のようちえん**」を始めます。すべてがつながっているように思っています。年々、子ども、親子での参加が増えてきています。**緑にふれる、自然のなか**にいることは、理屈なしに大切であると感じます。道ばたでも、小さな自然はたくさんです。季節毎に出会える生きものや植物は、1週間ないくらいの間で、その姿を**刻々と変化**しています。視たり、匂いを嗅いだり、触ってみたり、耳で聴いたり**五感**をはたらかせ、自然のなかで過ごしてゆくなかで、子どもたちそれぞれにどんなことを思うのか愉しみな日々です。

生きものを実際に目にする他に、**目にしたものを絵本でみせる**ことがあります。小さな子どもたち(3歳まで)には、擬人化されたものはほどほどに、**様々な生きものが一枚の絵のなか**に一同に会した**繊細な絵**で表現された 絵本をみせてあげたいと思います。実際に生きものが一同に会した場面に出会うことは難しいので、子どもたちによく伝わるのでおすすめです。大きい子どもたち(4、5歳)には、実際の生きものが写された、**美しい写真絵本**もおすすめです。より生きものを理解するのにとても良いと思います。

生きものについて、なにかご質問あればお気軽に。(わからなければお調べします！)



おすすめの写真絵本

◆ 石井 由樹子(いしい ゆきこ) 事務 担当 ◆



一時預かり  
ぷちのお部屋から

ママへのおみやげ ♥

ある日のことでした。**お散歩**のとき、道ばたに白い草花が咲いているのを見た**3歳の女の子**がふたり、「かわいいーきれいなー♥」しみじみと足を止めて見えています。「**おかあさんにおみやげあげたいねー**」「ママにもってかえろうよ…」そんな会話が自然と生まれて…ママと離れていてもママのことはちゃんとお胸の中にあって、**きれいなお花をおみやげにしたい**というやさしい気持ちが伝わってきました。

お部屋に戻るとAちゃんが「先生、このお花お水に入れて、ママにあげるの」と持ってきました。そして夕方お迎えの時「ママーおみやげ、かわいいお花でしょ」とコップに挿したお花を見ると…開いていたお花がしぼんでいます。「あれ、白いお花、どうしちゃったのかな？」実はそのお花は日中は開いているのですが、日が陰ると花びらが閉じてしまう性質のものでした。「かれちゃったのー？」と残念がる表情。「今日お散歩で見つけて、とっても大事に持ち帰ったので、おうちで水に挿して朝陽のさす窓辺に置いてあげてください」**Aちゃん**のキモチを何とかお花に託したくて、お母様にお伝えしました。

翌日のこと、Aちゃんママからうれしいお知らせが…「先生、今朝開きましたよ、花びら！きれいなお花ですね」たった一輪の草花のおみやげでしたが、**Aちゃんがみつけた時と同じように開いたお花**を見てもらえたことが、とてもとてもうれしくて**心があったか**くなりました。



◆ 淵本 明美(ふちもと あけみ-ふっち-先生) ぷち&園芸・広場 担当 ◆



# ぽけっと



11月20日(日)  
11:00~14:00

## ぽけっと祭まつり

### 「ぽけっとまつり」開催しました

チケットを購入したお子さんだけでも88人、約170人の親子が参加してくださいました。ありがとうございました！みなさんの「たのしかった」「おいしかった」という顔をたくさん見たいので、来年もまた行きます！おたのしみに♪♪



あちちのちー



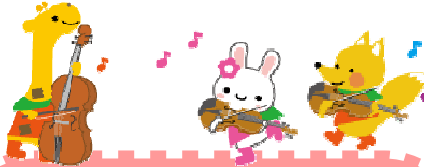
ほっくほく〜



やきいも



お話し会



### X'masコンサート ♪in ぽけっと♪



日時: 12月17日(土) 11:00~11:30  
場所: ぽけっとひろば

ママたちによる、親子のための、こころあたたまるほんわかコンサート♪♪♪ クリスマスソングのほかにも、アンパンマンマーチ、マルマル・モイモイ…♪のうたなど、いっしょに歌って踊れるたのしい内容です！



♪~♪♪

### かみしばい



ぺったんぺったん

### ゲーム



## ふあみさほ ファミリー・サポート・センター

今年も残り少なくなってまいりました。この1年間、皆様に支えられ無事故で援助活動をすすめることができました。本当にありがとうございました。

11月30日、今年度の新しい支援会員さんが誕生しました。全24時間の保育サポーター養成講座を受講された意欲あふれる皆さんです。支援会員に応募された理由を伺ってみました。「私も子育てが大変な時期、ファミサポのお世話になりました。自分の子どもたちもだいぶ大きくなったので、今度は恩返しのためです。」「以前住んでいた場所で、依頼会員と支援会員と両方やってました。ファミサポはいいシステムだなと思ってます。」「自分の子どもたちは成人しました。時間に余裕ができたので子育て中のお母さんをお手伝いできれば…」 「子育てをしている間、預ける場所がなくて苦労しました。そのときの想いがあり今度は自分がやってみようと思いました。」「子どもに関わる仕事をしています。その経験を活用してファミサポの活動ができればと思っています。」などなど、子育ての応援をしたいという温かなお気持ちが一杯の方々ばかりです。私たちアドバイザーも心強くなりました。

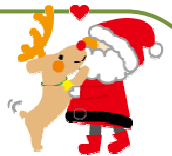
新しい支援会員さんを迎えて、葉山のあちらこちらで新しい活動の輪が広がります。これからも、どうぞよろしく願いいたします。

アドバイザー一同



編集後記

## 子のこころ 親のこころ



### ありのままでもいい…過保護と過干渉

今年は、大震災だけでなく個人的には父の病を経験して、命のたいせつさをより深く考える一年でした。「命を落とすかもしれない」と思えば、雑念を振り払い「生きていてくれるだけでいい」と純粋に命の尊厳を意識できる。毎日の生活でそう思えていなかったの？…と何だか皮肉です。

「この命を生かそう」子どもを授かったときにそう誓いました。あのときの「生きていてくれるだけでいい=ありのままでもいい」という心地の気もちを持ち続けたい。想いとは裏腹に、子どもたちが成長するにつれて雑念がムクムク…。**何かができることを期待して条件付きの愛情**になってしまいそうです。「子育てのバイブル」を多く執筆されている精神科医佐々木正美先生は、『**ありのままを受け入れる**ことがお子さんをほんとうに愛すること。それが**真の過保護**で甘やかすことにはならない。**過保護と過干渉**を混同してはならない』と著書の中で説明されています。**3歳くらいまでは、とくに無条件に愛されることが自信**となり前に進む力になるもの。もっといえば何歳になっても、**ありのままを認めるメッセージ**が背中を押す力になることに変わりはありません。

親は「心配だから」と称して、子どもが越えようとする前にさまざまな**ハードル**を設けてしまいがち。そして親がかりで乗り越えさせる…それは**過干渉**。子どもが自分から乗り越えようとするのを待って、自分で乗り越えるのを見守ること。「**できてなくても大好き**」と変わらない愛情を伝えること。先生のおっしゃる**過保護**とは具体的にはそういうことなのだと思います。シンプルなことなのに難しいのは何故でしょうね。

◆上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長・心理相談担当 ◆